

鍼灸学会 Tokyo

令和4年度

通常総会

第1回学術研修会

【講演テーマ】

パーキンソン病の鍼灸臨床

【講師】



(公社) 全日本鍼灸学会参与

木更津杏林堂院長

金井正博 先生

詳細は裏面をご覧ください

日時：令和4年4月17日(日) 13:40~16:20

会員で通常総会参加の方は13:00~

一般参加費：5,000円 (鍼灸学会 Tokyo 会員は無料)

会場：オンライン開催 (Zoom)

申込締切：2022年4月14日(木) 定員100名限定

一般申込 URL：<https://www.sgtokyo.org/event202204>

※) 会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

新規入会された場合も参加費は無料となります。

(但し、4/1 から申込締切りまでに入会手続きと当年度会費4,000円の納入をお願いします)

入会希望の方は鍼灸学会 Tokyo ホームページよりお申し込みください。

URL：<https://www.sgtokyo.org/>

(右のQRコードからもアクセスできます)

※) 鍼灸学会 Tokyo は全日本鍼灸学会とは異なる団体ですのでご注意ください。



鍼灸学会 Tokyo 令和 4 年度 通常総会・第 1 回学術研修会

講演テーマ パーキンソン病の鍼灸臨床

日時 2022 年 4 月 17 日(日) 13:00~16:20

会場 オンライン開催 (Zoom)

一般参加費 5,000 円 (鍼灸学会 Tokyo 会員は無料)

申込締切 2022 年 4 月 14 日(木)

※) 会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

主催 鍼灸学会 Tokyo

————— タイムスケジュール —————

12:00 ~ Zoom open

13:00 ~ 13:30 通常総会 (会員のみ)

13:40 ~ 13:45 講師紹介 (5 分)

13:45 ~ 15:50 講演 (125 分)
[途中休憩あり]

15:50 ~ 16:20 討論会 (30 分)

【講師紹介】

(公社) 全日本鍼灸学会参与
木更津杏林堂院長

金井正博 先生



「中長期のパーキンソン病患者に鍼灸治療はなぜ必要か」

中長期の治療経過中には様々な運動合併症を併発するが、一般的に知られているのは、薬効の減弱、on/off 現象、wearing/off 現象などである。

「すくみ足」による転倒からの骨折や怪我等からの QOL の低下、患者が高齢の場合はそこから車椅子、更に寝たきりへと症状が進んでいくことが多い。歩かなければ益々 QOL が落ち症状が進む結果になる。これらの背景には中枢のドーパミン受容体の感受性の変化がある。便秘が薬の吸収を妨げる。慢性の便秘やお腹を冷やしたり、バリウム検査を受けたり、ストレスが重なったりしてもおきる。

このような薬の調節が難しい患者様でも、鍼灸治療を行えば症状を緩解させることが出来るのではないか。便秘に関しても効果が有った経験はあるでしょう。筋肉の痛みや歩行障害に鍼灸は有効で有ることはご存じでしょう。薬を増やす前に鍼灸治療を試してみてもはどうでしょうか。

後半は実技を交えて発表します。

金井正博 (全日本鍼灸学会参与 木更津杏林堂院長)

【略歴】

1972 年 日本鍼灸治療専門学校卒業

~1977 年 小川晴通先生(東京都赤坂)、研修、経絡治療を学ぶ

~1979 年 仲野弥太郎先生(三重県四日市市)研修、

鍼灸接骨姿勢について学ぶ

1980~年 木更津市にて鍼灸院開業

「がんと鍼灸」コーディネーター。

「脳と鍼灸」(千葉大学と共同研究)、「パーキンソン病の鍼灸臨床」(鎌ヶ谷総合病院と共同研究)

元(公社)全日本鍼灸学会常務理事、元日本伝統鍼灸学会理事、日本鍼灸神経科学会幹事

予防鍼灸研究会顧問

日本鍼灸師会会員、千葉県鍼灸師会会員、全日本鍼灸学会会員、日本伝統鍼灸学会会員、

日本鍼灸神経科学会会員、予防鍼灸研究会会員

【パーキンソン病に関する発表歴】

長期通院のパーキンソン病患者の歩行からみた評価 (全日本鍼灸学会)

軽度パーキンソン病の一症例 (全日本鍼灸学会)

パーキンソン病の一症例 (日本伝統鍼灸学会)

パーキンソン病の経絡治療 (日本鍼灸神経科学会)

パーキンソン病の鍼灸症例 (早期認知症学会)

鍼灸学会 Tokyo

ホームページ



URL : <https://www.sgtokyo.org/>